

平成22年度 補正予算

■ 一般会計補正予算

補正額 △7億6千460万8千円
総額 227億2千619万8千円

国の緊急経済対策として本年度補正予算で創設された、地域活性化・きめ細かな交付金、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金の交付対象事業の追加と、年度末における各事業費の実績に基づいて予算の過不足を調整するものです。

質疑

小・中学校扇風機設置工事について、教室のどの位置に何台設置されるのか。

答弁

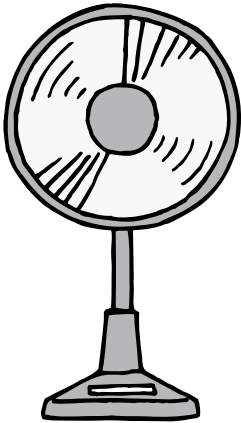
天井へ1教室当たり4台と現在考えている。天井だと補強材が要る教室もあるようだが、この基本方針のもとで設計を進めていきたい。また、扇風機の大きさは40センチを考えている。

質疑

耐震化緊急支援事業について、即日10件がすべて埋まってしまったが、追加を県に申請することを考えなかったのか。市独自の対応はできないのか。

答弁

3月1日の受け付けで、10件が1日で完了したが、その後2件のキャンセルがあり、キャンセル待ちの方で補いをした。現在4件程度の問い合わせがある。これから耐震工事を進めてもらえるか不明確な状況にもあるので、県への追加は今後の状況を見た中で検討していきたい。



市独自の追加の予算の関係についても、状況を見ながら考えていきたい。

■ 一般会計補正予算(追加)

補正額 150万円
総額 227億2千769万8千円

耐震化緊急支援事業による緊急支援としての10戸分に、新たに5戸分の事業費を追加するものです。

平成23年度予算

■ 一般会計予算

質疑

愛西市防災コミュニティセンター整備計画が示されたが、策定経緯は。

西保地区の防災コミュニティセンターの施設の概要、資金計画及び完成年度は。また、内佐屋町、柚木町、日置町及び開治小学校区は。

答弁

平成21年12月に西保町より防災コミュニティセンター建設整備に向けた要望書が出され、総合斎苑建設検討委員会や3月議会の質問もあった。市内全域を見据えた避難所の整備とあわせて、市民のコミュニティ活動の拠点施設を整備する基本的な指針。

西保地区の防災コミュニティセンターは、敷地面積約2千㎡、延べ床面積600㎡。合併特例債を一部財源として活用したい。24年度完成予定。他2地区については、西保町

地区と同等な規模で計画したい。27年度には完成をさせたい。概算事業費1地区約2億3千万円と見込んでいる。

質疑

観光協会設立準備金や委託料の算定根拠は。

答弁

規約や事業内容、予算については、観光協会設立準備検討委員会で審議している。愛西市商工会に委託を予定。設立までの人件費や事務所の改修費、備品購入費、設立総会の記念催事費など720万円。設立後の経費を76万8千円、会費を合計最低で55万円を見込み、この差額を補助金として計上した。事務所の職員3人分、需用費、ホームページの作成委託料など。

■ 国民健康保険特別会計 予算

質疑

支払準備基金繰入金がゼロ円となっているが、基金が底をついたという考えでいいのか。また、今後この準備基金